

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本理念を全員が見える入り口に掲げており共有できている。今後は再確認する機会を更に創出していく。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	8月に大歳神社への参拝、10月に岩岡秋祭りの神輿観覧を実施。今後は更に地域の催し物に参加出来る仕組みを検討していく。	自治体との関係性を構築する為にも積極的に地域行事への参加を赤坂自治会に相談してみる。 (7月22日 運営推進会議)		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議で頂戴した意見を参考に11月24日より面会・外出の規制緩和を実施する事につなげた。	新体制になるにあたり、ご家族様や自治会・近隣施設の皆様と改めて話し合いをしていきたい。その中で、課題、改善点があれば議論をし、進捗状況については随時報告していきます。いずれ地域の皆様と共に催し物ができるような環境作りに、取り組んで参りたいと思います。 (5月27日 運営推進会議)		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	西区のグループホーム連絡協議会に参加し、行政と同地区の他事業所との連携関係を築けるように取り組んでいる。	管理者やケアマネージャーが地域においてそれぞれに繋がりを持ち、いろんな情報を共有することで、行政との連携に活かしていきたい。 (9月30日 運営推進会議)		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	兵庫県介護福祉協会から講師を招いての身体拘束・高齢者虐待に付いて研修を実施して頂いた。 普段の業務に於いても職員間で拘束や抑制にあたるかを話し合いながら対策を検討している。 身体拘束委員会を刷新し委員会を開催する予定。 玄関の扉は日中開錠し、夜間は防犯上の関係で施錠している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束についての研修を上半期に1回実施確認。また一人ひとりにアンケートをとることでケアの見直しが出来ている。 月1回のミーティング時に身体拘束適正委員会を開催し身体拘束をしないケアに向けて取り組んでいるのを議事録で確認した。また身体拘束員会を刷新し会を開催する予定と聞きとる。 また防犯に配慮しながら、日中は施錠していないことを確認する。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	兵庫県介護福祉協会から講師を招いての身体拘束・高齢者虐待に付いて研修を実施して頂いた。 普段の業務に於いても職員間で拘束や抑制にあたるかを話し合いながら対策を検討している。 新入職の職員に対しても身体拘束研修を実施している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待については新入社時に研修を実施していること書面で確認する。また、9月・10月と分けて全員が研修を受講していることを書面で確認する。一人ひとり職員が研修報告書を作成している。研修時の資料も確認した。また、日常的に情報共有していることも確認した。
	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は外部から講師を招き、成年後見制度について学んだが、コロナ感染防止の為、現在は行っていなかった。今年度は外部講師を招いて研修を行っていく。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約については十分時間を取り、理解、納得していただけるよう説明し、不明な点や不安なことにおいては、いつでも相談を受けられる体制を整えている。			
	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の意見や要望は、日々の生活、また、ケアプラン更新時にお聞きし、家族には、カンファレンスや面会時、又は意見箱を設けお聞きしている。 意見や要望は運営推進会議で話し合い、運営に反映させている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の意見や要望は、日々の生活、また、ケアプラン更新時にお聞きし、家族には直接又は意見箱を設け聞いている(意見箱の設置確認した) 内容課題は、対面での運営推進会議でその場で話し合い、運営に反映させている。外出計画を立てている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回ミーティングを行い、意見交換を行っている。月1回のミーティングは集中して話し合いができる環境を整え行っている。 又、年に一度個人面談を行い、意見や要望などを聞く機会を設けている			
	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者や職員個々の努力や勤務状況などを把握し、職員の意向等もくみ取り、得意分野を活かしながら、働きやすい環境作りを行っている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者が職員一人一人と(時間をとって話しやすいよう別部屋で)面談をし、職員個々の努力や勤務状況などを把握し、職員の意向等もくみ取り、得意分野を活かしながら、働きやす

				る。ロッカーを増設するなど処遇改善などの整備にも努めている。			い環境作りを行っている聞き取った。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員育成の為、年間研修計画を立てている。コロナ感染防止のためオンラインにしていた外部研修への参加を実地で行い参加した職員のモチベーション向上や見識を拡げるように環境を整えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修内容は認知症・感染対策など研修の年間計画を立てており、研修後は研修報告を作成している(年間計画書・報告書確認した)外部研修にも研修の案内を行い複数の職員が研修に参加していることを書面で確認した。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	区内のグループホーム連絡会、他施設の運営推進会等になるべく参加し、情報交換、意見交換を行っている。夏祭りの見学なども行い交流をしている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当ホームの理念に沿った、敬う気持ちを職員一同が持ち、本人に役割の創出に尽力している。今後はカンファレンスの機会を設けて理解を深めて推進していく。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染防止の為、対面の面会や外出は制限していたが緩和を実施し、関係性が途切れないように支援していく。	施設内においては、1階と2階の入居者様同士で交流を深めており、今は夏祭りに向けて皆で盆踊りの練習をしている。 iPadがあればズームで面会ができるので、面会に来ている人だけでなく直接面会に来られていない方とも会う事ができるので活用してみてもどうかとのご意見伺う。 (7月22日 運営推進会議)		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望が出た際には記録に残し、ケアプラン更新時で、本人、家族の要望をお聞きし、一人ひとりの状態、希望に合わせ、都度確認し意向に添えるように努めている			

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎月のミーティングで介護支援専門員を中心に話し合いを重ねて、本人の変化やニーズに合わせ、現状に即した介護計画を作成している。	今後は、各フロアのスタッフを「ワンチーム」とし、全てのスタッフが利用者様の情報を共有し、日々の様子や変化に対応できるよう、連携体制を構築していきたい。それにより、利用者様の状態に合ったより良い介護計画を作成する事ができ、結果として円滑な介護サービスの提供につながると考えている。 (5月27日 運営推進会議)	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎月のミーティング、モニタリングで話し合い、本人の変化やニーズに合わせ、現状に即した介護計画を作成している。毎月のミーティング録等議事録確認した。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日々の生活の様子はケース記録へ記入している。又、その都度気付いた点や工夫、結果などの記録を残し、フロアミーティングの際に職員間で情報共有し実践と評価をしている。			日々の生活の様子はケース記録へ記入し、その都度気付いた点は職員間で話し合い実践している(ケース記録確認した。又フロアミーティングの記録も改善し誰が見てもわかりやすいものになっていること書類で確認した。
	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本人の状態の変化に合わせ、柔軟な支援を常に心掛け、職員間で話し合い取り組んでいる。又、今後どのような事が出来るか運営推進会議での意見を参考に取り組んで行く。			
	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	二ヶ月に一度、訪問理容師による散髪を実施している。 コロナ感染防止のため、ボランティアの受け入れは中止していたが今後は状況を見ながら再開を検討していく。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	岩岡地区の祭事への参加や地元の米屋さんとの取引など、地域資源を活用しようとする取り組みを始めた。 地域で採れた野菜などを販売しているお店が近くにあるので、食材を購入しに行く事やレクリエーションを企画する際は、西区の社会福祉協議会やボランティアセンターに尋ねてみる事も検討する。 西区が発行している広報誌には、地域の行事や防災訓練などの年間行事が記載されているので、いろんな行事に参加しやすくなると思う。 (9月30日 運営推進会議)			

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	訪問診療を週に一度かかりつけ医に依頼している。それ以外にも状態に応じて随時電話などで指示を仰いでいる。 病院への受診は基本家族が行うが、同行困難な場合は、職員が対応している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入院時は早急に情報提供書を作成し、情報提供を行っている。 コロナ感染防止のため、入院時の面会は自粛しているが、早期退院を支援するため、定期的な電話連絡で症状の確認を行い、退院に向けた情報交換や相談に努めている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入院時は早急にサマリーを作成し、情報交換を行っている。(書面確認した)又、コロナ感染防止のため、入院時の面会は自粛しているが、早期退院を支援するため、定期的な電話連絡で症状の確認を行うなど聞き取る
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入所時に「看取りに関する指針」「重度化した場合の対応に関する指針」の同意書について説明し、署名をいただいている。又、終末期には、看取り計画書を作成し、事業所のできる事を十分に説明しながら、本人の一番良い状態を探しケアを行えるように、家族、主治医、訪問看護師と連携を図り、支援出来るように取り組んでいる。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入所時に「看取りに関する指針」「重度化した場合の対応に関する指針」の同意書について説明し、署名をいただいている。又、終末期には、話し合いを頻回に行い、本人の一番良い状態を探しケアを行うように努めている。入所時に重度化した時の対応についての確認をしている。各書面確認した。また家族・主治医・看護師の各々からの聞き取り項目を作成し書面で確認した。また、今年度はすべての人の家族に連絡し、意向を再確認したと聞き取った。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	急変時の対応について、現場の意見を吸い上げ急変時対応マニュアルを改訂中。急変時に家族と連絡が取れない場合を考慮し、「事前意思確認書」を取り交わしている。入居されて期間が空いている方もいらっしゃる為全入居者様の御家族様に電話にて意思確認を行った。応急手当や初期対応について			

25				のマニュアルはあるが、訓練は行えていないため、今後、定期的な訓練の実施を計画していく。			
	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年二回、消防訓練を実施している。直近の訓練は、11月に総合訓練（初期消火、避難訓練、通報訓練）を実施。又、事業継続計画に基づき地震等の自然災害に対しても対応できるように、職員研修を実施予定。 夜間想定については、地域との協力体制を模索していく。	運営推進会議にて意見を伺い、救援物資にトイレが無いとの事なので、簡易トイレなどを購入検討。 ホームでは先日、事業継続計画に関して最初の会議を行い、訓練の実施（まずは台風想定）や、災害の備え（備品の備蓄）について話し合い、次回は指示系統についても考えたい。 （9月30日 運営推進会議）	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年二回、消防訓練を実施している。直近では11月総合訓練を実施していると聞き取る（実施時の記録確認） 又、地震等の自然災害に対しても対応できるように、職員研修を実施する予定と聞き取る。また、マニュアルを更新し書類確認した。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティングや研修で、一人一人の人格を尊重した言葉かけや、行動に気を配る様に意識するように啓発。外部講師による研修でも啓発を行い日々の業務内でも随時話し合える雰囲気作りをしている。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの人格を尊重し、言葉かけや、行動に気を配る対応を心掛け、随時ミーティングや研修で振り返りを行っている（記録確認）
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者のペースに沿って支援出来るように、業務スケジュールの改善、見直しを行っている。 本来のその方の生活観を理解し、希望に添えるように努めている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症が進行し、食事準備、下膳等、出来る方が減少しているが出来る範囲でお願いしている。 又、箸の置き方やスプーンなどの工夫を話し合い、なるべくご自身で召し上げれる工夫を実施している。 行事の際は、豪華な食事や季節に合った食事を提供している。 又、誕生日にはケーキを提供している。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別の能力に合わせて食事の盛り付け、お盆拭き等のお手伝いをしている。また食事も好みを聞き合うように提供していることもあると聞き取る。行事の時には季節に見合った食事を提供するなど、食事が楽しめるように工夫している。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	業者がカロリー計算や栄養のバランスを考えた献立と食材を配達し、それを提供している。それに加え、一人一人に合った食事形態、食事量を考え提供している。又、食事量、水分量を毎日記録し、職員間で共有し、一日を通じて摂取量が確保できるように努めている 水分が中々進まない時はその方の嗜好に合わせて水分の種類変えて提供などの工夫をしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後に口腔ケアの声掛け、介助を行っている。定期的に訪問歯科による検診、治療、訪問口腔ケアによる口腔ケアを行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後に口腔ケアの声掛け、介助を行っている。定期的に訪問歯科による検診、治療、訪問口腔ケアによる口腔ケアを行っている(記録確認)
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表を作成し、一人ひとりの排泄パターンの把握に努め、トイレ誘導を行っている。又、便秘傾向の入居者には、朝食時等にヨーグルトや牛乳を提供し、自然排便を促している 便秘予防のため、主治医、看護師と連携をし、薬の調整等を行い、個々に応じた予防に取り組んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表を作成し、一人ひとりの排泄パターンの把握に努め、トイレ誘導を行っている。またケース記録を転記して一目でわかるようにしている。また日誌等にも指示を記載している。(記録確認)
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	無理強いせず、状況に応じて、見守り可能な時間帯に入浴できる体制を整えている。重介護者に対しては部分的に二人介助を実施したり、認知症ケアの概念を意識して支援をしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就寝時間や起床時間は入居者によって異なる為、出来る限り個別対応を心掛けている。愛着がある毛布などをご家族に持参して頂くなどの工夫もしている。休息の必			

				要な方や眠気の強い方は、午睡していただくように支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬チェック表を更新し、ダブルチェックでの投薬を徹底し、誤薬や飲み忘れがないように確認をしている。症状の変化等がみられる場合は、関連医療機関へ連絡し、指示をもらっている 薬情シートをファイリングして随時確認できるように工夫している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬チェック表を見やすく再作成し、誤薬や飲み忘れがないように確認を徹底している。症状の変化等がみられる場合は、関連医療機関へ連絡し、指示をもらっていると聞き取る。また共通してわかるように薬の情報はケースファイルに入れていることを確認する
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お手伝いができる方には、積極的に洗い物や洗濯物干しなどのお手伝いをして頂き、役割や気分転換に繋げている。又、体操やレクリエーション、外気浴を実施している。	今は洗濯物や洗い物等のお手伝いを一部の方にお手伝いして頂いているが、全ての入居者様が持つ力を発揮する為に以下の御意見を頂戴した。 歌や楽器の演奏、また折り紙や季節ごとの小物作りなどを披露する発表会を開くのはどうか。 披露する場があることは励みになり向上心に繋がると思う。 (7月22日 運営推進会議)		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染防止のため、買い物や外食などは中止している。感染防止対策をしながら、個別や少人数で施設内の庭で外気浴の実施。又、ドライブでお花見や風景を眺めたり等、戸外に出かけられるよう支援に努めている。	付近に大型ショッピングモールが有り定期的に子供たちが歌やダンスを披露しているので、見物に行くのはどうか。また、ウインドーショッピングするだけでも楽しむ事ができると思う。 事前に問い合わせれば席や駐車場を確保できるかもしれない。 ・飲食店で個別に部屋を借りて、食事会をするのもいい。 (7月22日 運営推進会議)		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お金の説明はしているが、認知症の進行に伴い、現在は本人がお金を所持、管理をすることはない。			
	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	殆どの方が、自ら電話や手紙でのやり取りは困難な為、職員が家族や知人との間を取り持ち、手紙を送ったり、電話を取り次いだりしている。			
	居心地のよい共有空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有空間には、壁画や作品を季節に合わせて展示し、季節感を取り入れている。フロアには談話スペースがあり、ソファ等を設置し、リラックスできる空間作りに努めている。 安全かつ自立して生活できるように施設内の共有部分には手すりを設置している。 玄関や2階中庭にプランターを設置して花を愛でる事で季節感を感じてもらおう工夫をしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	壁には季節に合わせた作品を展示し、季節感を取り入れている。フロアには談話スペースがあり、ソファ等を設置し、リラックスできる空間作りに努めている。また共有部分には手すりを設置しており安全面の配慮がなされている。(現地確認) 机やベッドの位置を工夫し、どこからでも見守りが出来るようにしている。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプラン更新時に要望を聞き、プランに取り入れている。又、毎月モニタリングを作成し、本人の意向に沿えるように、職員間で共有し、ケアに繋げている。 ケースカンファレンスを実施していき暮らしの質をより深めていく。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族より生活歴や暮らしの習慣等、聞き取りを行い、基本情報シートを作成している。情報や要望をケアプランに取り入れ、支援を行っている。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	バイタル、食事・水分量、排泄状況等の健康面や、安全面、環境面においても毎日個別に記録し、ミーティングで改善や見直しをし、よりよい支援に繋げている。医療面においては、訪問診療（毎週）、訪問看護（毎週）とのサポート体制を整えており、訴えや体調の変化がみられる場合は、随時主治医、看護師と連携を取り、日々の状況をもとに、ケア・支援を行っている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日々のバイタルチェック、症状等を記録し、安全面、環境面においても個別に記録し、ミーティングで改善や見直しを話し合い、支援を行っている 又、医療面においては、訪問診療（毎週）、訪問看護（毎週）にてサポート体制を整えていること確認する（各々の記録あり。確認）
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本人のペースに沿って支援できるように努めている。生活状況が大きく変わった方もおり、一人一人に合わせられるように、業務スケジュールの見直しをその都度行っている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	使い慣れた家具や家族の写真等、好みの物を持ち込んで頂き、居心地の良い空間にしている。 認知症の進行により、不安や不穏が強く出る方に関しては動線を検討して安全を確保できる環境を整える様に支援している。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	使い慣れた家具や家族の写真等、好みの物を持ち込んで頂き、居心地の良い空間にしているが、認知症の進行により、不安や不穏が強く出る方もおられ、リスクを配慮し設置できない場面もあると確認する
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができる	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	認知症の症状の進行により、本人のみでの外出は困難な為、職員が付き添い、散歩、外気浴などを行っている コロナ感染防止のため外出や催（祭）事などへの参加は自粛していたが11月より家族様同伴での外出を緩和を実施。	今は洗濯物や洗い物等のお手伝いを一部の方にお手伝いして頂いているが、全ての入居者様が持つ力を発揮する為に以下の御意見を頂戴した。 歌や楽器の演奏、また折り紙や季節ごとの小物作りなどを披露する発表会を開くのはどうか。 披露する場があることは励みになり向上心に繋がると思う。 （7月22日 運営推進会議）		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 充分にできている ⑥. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お手伝い出来る方には、積極的にお手伝いをして頂き、役割や気分転換に繋げている。入居者の状態を把握し、一人ひとりに合わせた個別支援やレクリエーション活動を実施している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各フロアに談話スペースを設け（ソファ、椅子を配置）、交流の場として活用し、日々を過ごされている。日々のレクリエーションをレク担当者が企画し、活動的に過ごせる様に努めている。		A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各フロアにソファや椅子を設置し、談話スペースを確保して交流できるような空間作りを行っている 又、日々のレクリエーションをレク担当者が企画し、活動的に過ごせる様に努めている
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ④. ほとんどできていない	入居者の認知症の症状の進行により、なかなか地域との交流が図れないが、二ヶ月に一回地域の訪問散髪を受け入れを行い交流している。 コロナ感染防止のため、ボランティアの受け入れ、地域との交流等は中止している。	歌や楽器の演奏、また折り紙や季節ごとの小物作りなどを披露する発表会を開くのはどうか。 披露する場があることは励みになり向上心に繋がると思う。 他の施設で、輪投げやボーリング、習字等のレクリエーションをすると、集中して取り組まれていると聞いた。 施設として道具その他、必要なものを揃えていきたい。 (7月22日 運営推進会議)		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている ⑥. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	『入居者の方を尊び、その知恵に学び、自らを磨く』というホームの理念に沿った関係性を築けるように心掛けている。 日々入居者一人ひとりとコミュニケーションを図り、その方の生活歴や既往を理解した上で信頼関係を築き、安心して、より良い日々を入居者が送ることが出来るように努めている。	『入居者の方を尊び、その知恵に学び、自らを磨く』というホームの理念に沿った支援を今後共継続していきます。 地域密着型だからこそできる事を地域の皆さまのお力をお借りしながら実現していきます。 (9月30日 運営推進会議)	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	『入居者の方を尊び、その知恵に学び、自らを磨く』というホームの理念に沿った関係性を築けるように心掛けています。又、入居者と職員と一緒に楽しく過ごせ、信頼関係と絆を築き、入居者の方が安心して、より良い日々を送ることが出来るように努めていると聞き取る また、地域との交流だが、祭りの神輿が来て入居者との交流が持てたと聞き取る写真も飾っており確認する。